

(問1)

何校何人がバスを利用しているか。バス停を何カ所利用しているか。

→本市が実施している「遠距離等通学費の補助制度」の補助者数（平成30年度分）

校数：小学校15校、中学校7校、義務教育学校3校

人数：小学校（義務教前期含む）465人、中学校（義務教後期含む）107人

（ただし、現在把握している数であり、100%ではない。）

→バス停を何カ所利用しているかは現時点で不明。

(関連1)

定期利用者か？雨の日にだけ乗るのは含むか。

→定期利用者。

(関連2)

児童生徒数は何人か。

→小学校（義務教前期含む）9,710人、中学校（義務教後期含む）4,693人

(問2)

実態把握はどういった内容を聞くか。例えば、どういった環境や、見通しなど。

→これからの協議。

(問3)

成果物は、いつ頃までに、どうやって、どう把握するか。

→学校経由で把握する方向で考えており、照会期間は2週間程度で、早急に行いたいと考えている。これも、これから協議していくところであり、成果物は、関係者の会議へ提供していければと考えている。